

# Zabbixから見たオープンソースの 開発とビジネスの裏側 #3

Zabbix Japan 代表 寺島 広大

# 自己紹介

- Zabbix Japan 代表
  - サポートエンジニア
  - トレーニング講師
  - アプリケーションや周辺ツールの開発など
- Zabbixとの関わり
  - Zabbix日本ユーザー会設立 13年
  - Zabbix社員として 7年半
  - Zabbix Japan設立から 6年

# Zabbix Conference Japan スポンサー

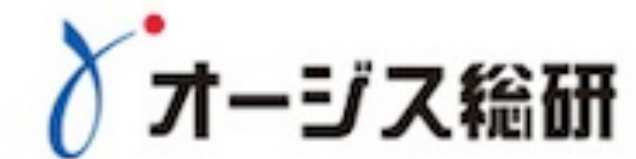
Platinum



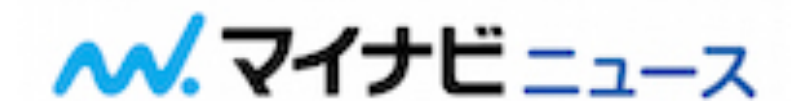
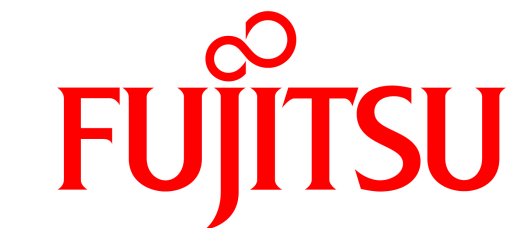
Gold




Silver



Media



# Zabbix 4.0 LTS!



**ZABBIX 4.0 LTS**

Retain total visibility  
of your IT infrastructure  
and services

[Explore What's New](#)

The image shows a computer monitor displaying the Zabbix 4.0 LTS web interface. The interface is dark-themed and features a central dashboard with various widgets, including a network topology diagram, a list of monitored items, and several line graphs showing performance metrics over time. The monitor is on a desk with a keyboard and mouse.



# 過去のリリースとサポート期間

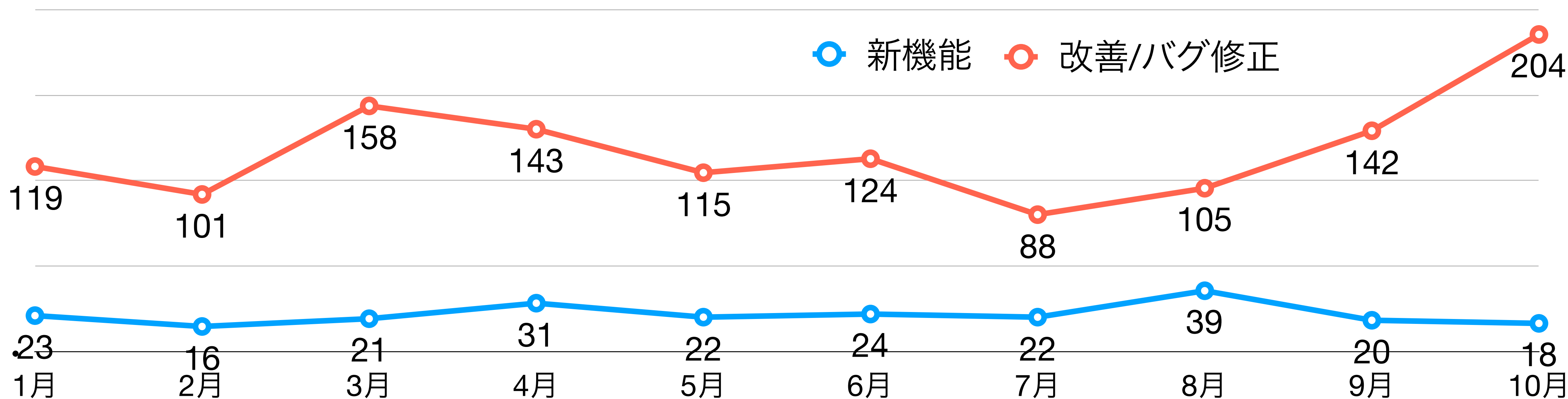
	リリース	開発終了	問合せサポートのみ
Zabbix 1.8	2009/12	<b>2014/11</b>	
Zabbix 2.0 (LTS)	2012/05	<b>2017/05</b>	2019/05
Zabbix 2.2 (LTS)	2013/11	2019/08	2021/08
Zabbix 3.0 (LTS)	2016/02	2021/02	2023/02
Zabbix 3.2	2016/09	<b>2017/11</b>	
Zabbix 3.4	2017/08	<b>2018/10</b>	
Zabbix 4.0 (LTS)	2018/10	2023/10	2025/10

# 3年計画のプレゼンテーション

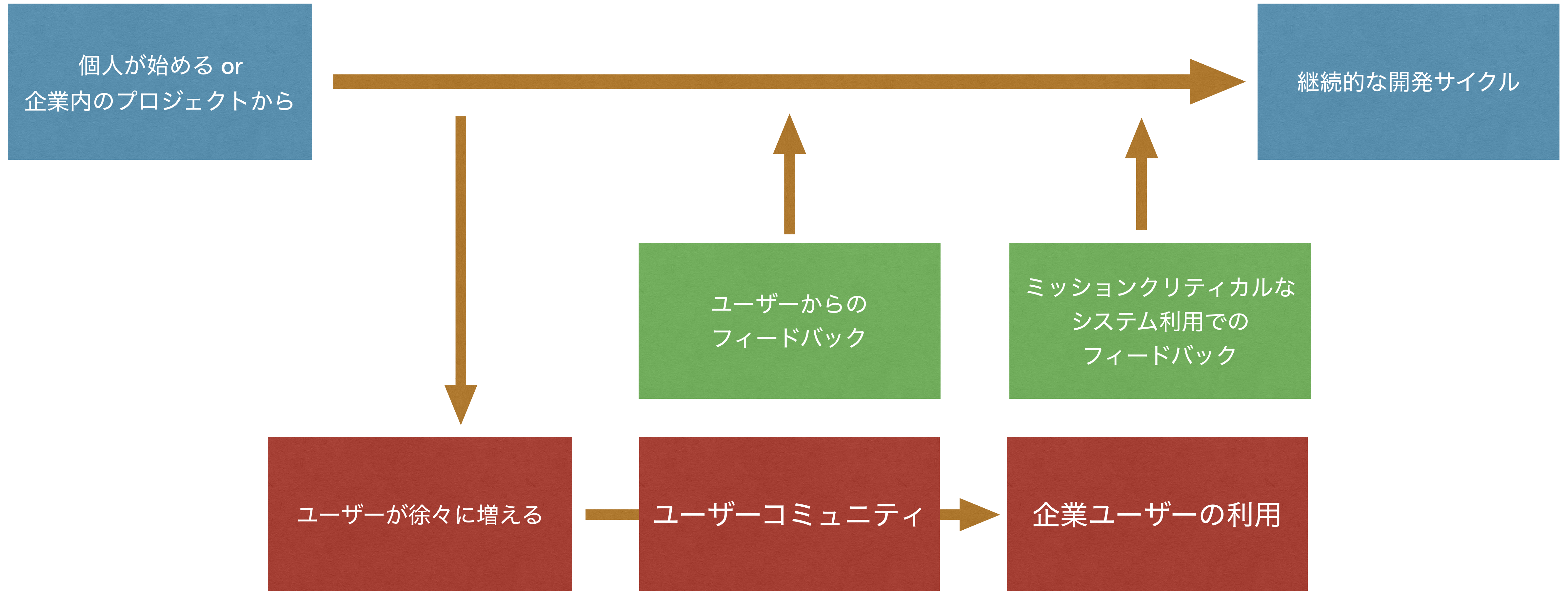
- ・ 2016(4周年) : OSS開発や海外で働いた経験から
- ・ 2017(5周年) : OSSのビジネスとマーケティング
- ・ **2018(6周年) : OSSを活用するためには**

# Zabbixの開発速度

- ・ 年を追うごとに開発速度が上がりコードは複雑化
- ・ 毎月20-40件の新機能と100-200件の改善
- ・ Zabbixの中の人でも全部の新機能/改善を追うのは大変



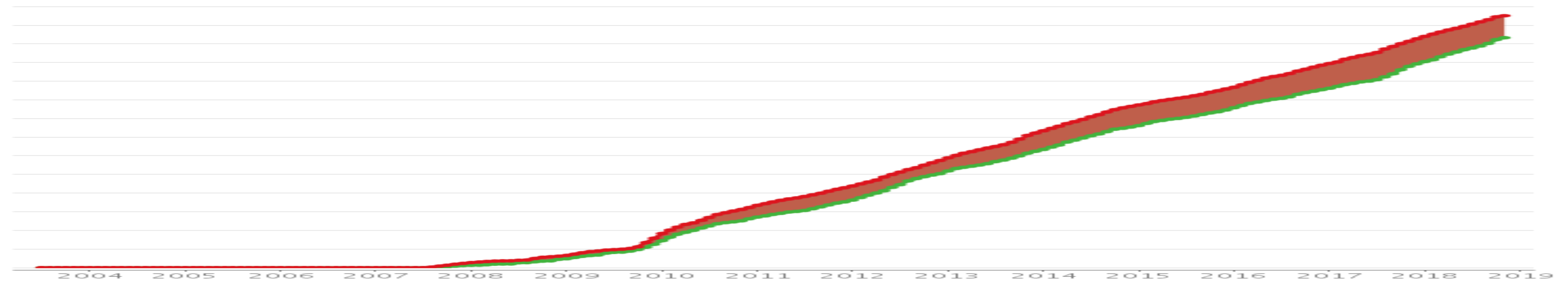
# OSSの始まりから広がり





# Zabbixの始まりから広がり

バグチケット登録数  
(2014-)



Googleトレンド  
(2014-)



個人で開発を始める  
(1998年開発開始,  
2001年1.0リリース)

継続的な開発サイクル

ユーザーからの  
フィードバック

ミッションクリティカルな  
システム利用での  
フィードバック

ユーザーが徐々に増える

Zabbix社設立  
日本コミュニティ設立  
(2005年)

企業ユーザーの利用

Zabbix Japan設立

# 日本のOSSビジネス

# たいていの調査で出てくる、OSS利用の懸念点

技術者がいない

&

問題が発生した時に問い合わせる先がない

# 日本企業による「OSSビジネス」

- ・ 技術者不足を支援する (ユーザー側の立場)
  - ・ OSSを導入するユーザーの技術支援 (SI)
- ・ 問い合わせ窓口の提供 (ベンダー的な立場)
  - ・ OSSのサポートを提供する

# OSSは採用しやすい環境が整ってきた

- ・ 開発元サポート or 国内企業のサポート
  - ・ RHEL、MySQL、Zabbixなどなど公式サポートがあるソフトウェアも多数
- ・ 自社でエンジニアを確保
  - ・ 不明な点はサポートでも補える
- ・ 技術者不足は他社の助けを借りる
  - ・ 必要に応じてSI企業へ支援を要請できる

# Zabbixのビジネスモデル

- ・ Zabbix Enterpriseサポート
  - ・ クリティカルなシステムではテクニカルサポートが必要
- ・ パートナープログラム
  - ・ Zabbixの構築・技術支援を行える企業様との連携
- ・ トレーニングプログラム
  - ・ Zabbixの利用方法の習得や技術スキルの向上

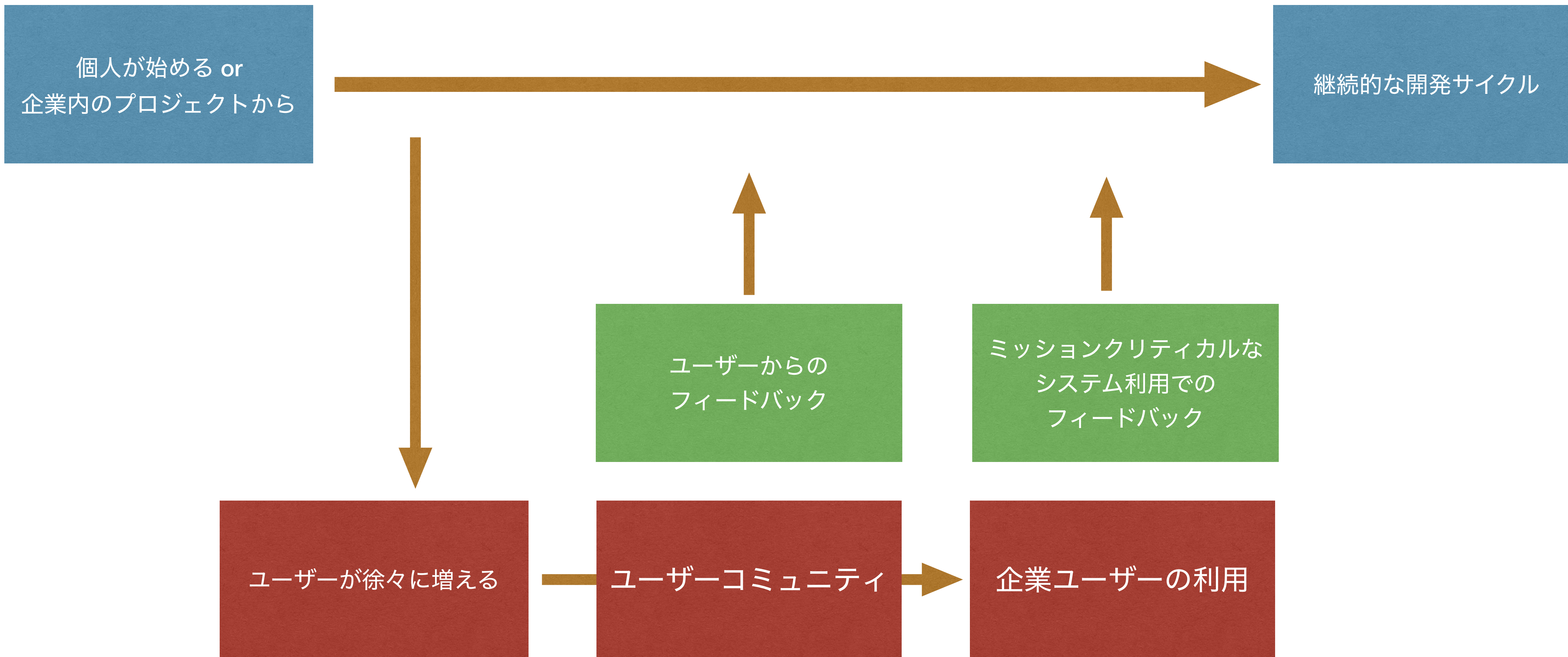
OSSを活用するためには

# 日本のOSSの現状

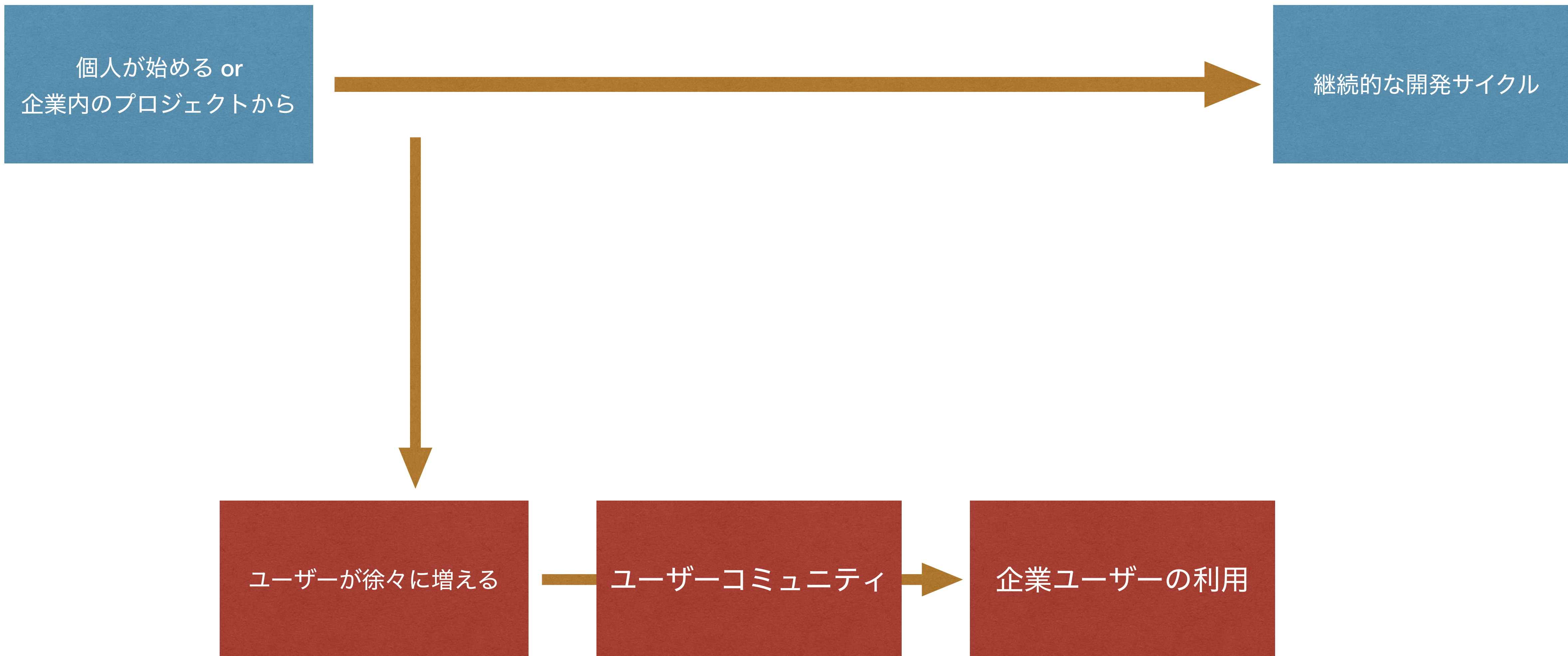
- ・多くの個人/企業はOSSを活用している
- ・OSSの開発者や開発元企業はほとんど見かけない
- ・OSSの海外フォーラム/バグ報告では時々日本人を見かける



# 日本の場合こうなっている？



# 日本の場合こうなっている？



# 日本の場合こうなっている？

個人が始める or  
企業内のプロジェクトから

継続的な開発サイクル

開発元

日本のOSS利用者

ユーザーが徐々に増える

ユーザーコミュニティ

企業ユーザーの利用

# 日本の場合こうなっている？

個人が始める or  
企業内のプロジェクトから

開発元

継続的な開発サイクル

日本のOSS利用者

ユーザーが徐々に増える

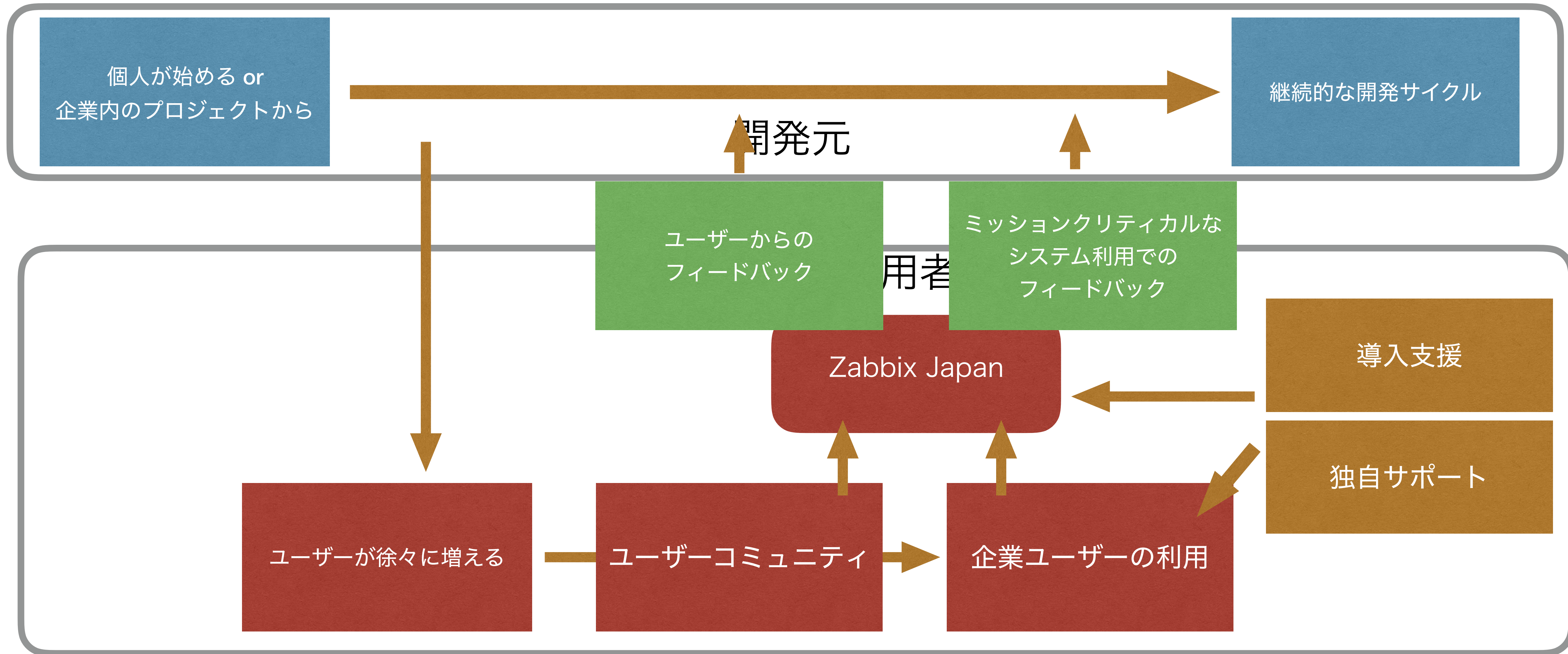
ユーザーコミュニティ

企業ユーザーの利用

導入支援

独自サポート

# 日本の場合こうなっている？

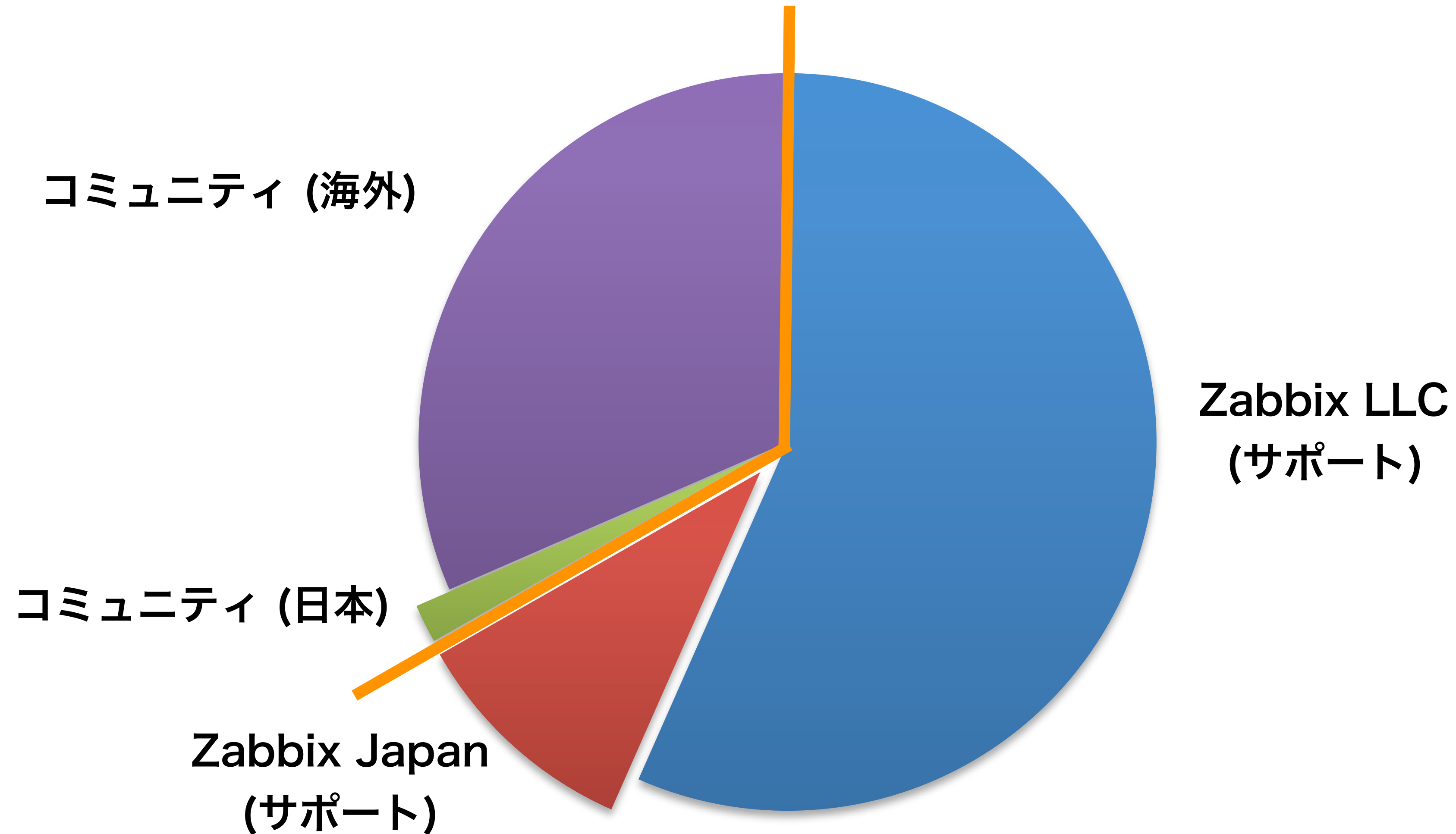


# OSS利用の上で課題になること

- ・ ソフトウェア自体の問題にどう対処するのか
  - ・ 開発元に依頼して修正してもらおう？
  - ・ 独自で修正？
- ・ 将来の機能や動作に関する要望
  - ・ 開発元に意見を言う？
  - ・ 独自にカスタマイズして機能強化する？

# Zabbix Japanの活動

- ・ Zabbix 2.2.0-2.2.7の間に修正されたバグ報告元



# OSSの難しいところ

- ・ 開発者は問題を理解しないと修正してくれない
- ・ 開発者はユースケースを理解しないと修正してくれない
- ・ 開発者は興味がないと修正してくれない
- ・ 開発者は技術的に正しくないと言わないと修正してくれない



# 利用だけでなくコミュニケーション

- 動作に問題があれば開発元へ連携して修正してもらおう
- 欲しい機能を実装してもらえるように働きかける
- 開発者が将来どのような機能を考えているかを知る

# OSSとの関わり方 (ユーザーの視点)

- 長期的な視点でOSSを活用する
  - 利用しているOSSがなくなったら自社に不利益
  - OSS開発者へのフィードバックは将来への投資
- 良いOSSを見つける、使う、フィードバックする
  - 開発が継続するためにフィードバックは重要
  - 開発者は理解できれば修正や改善は行ってくれる

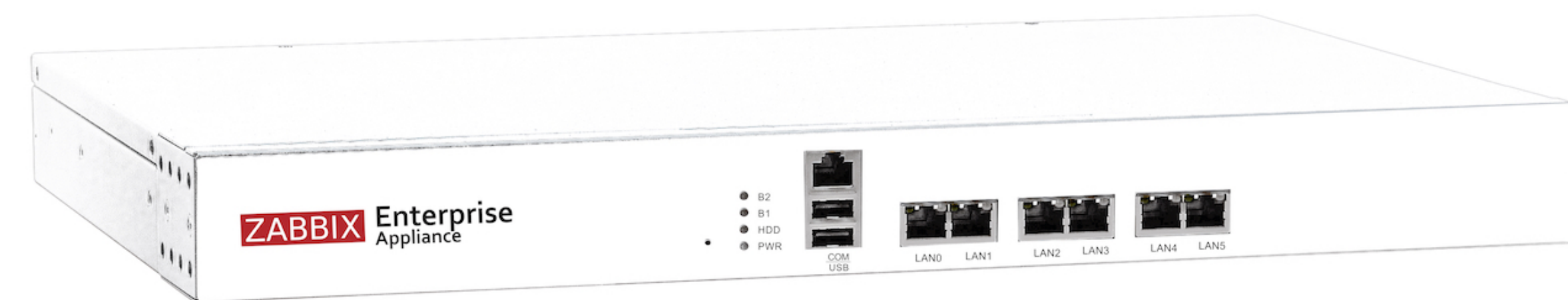
# OSSを活用したビジネスのポイント

- OSSとその活動を理解しているエンジニア
  - 開発元と円滑にコミュニケーションを取れる
  - 開発元と共にプロダクトを育てていく観点が大事
- ビジネスの観点では長期戦
  - プロダクト自体が継続かいつされることが重要
  - ユーザーが広がるまではビジネスにはなりづらい


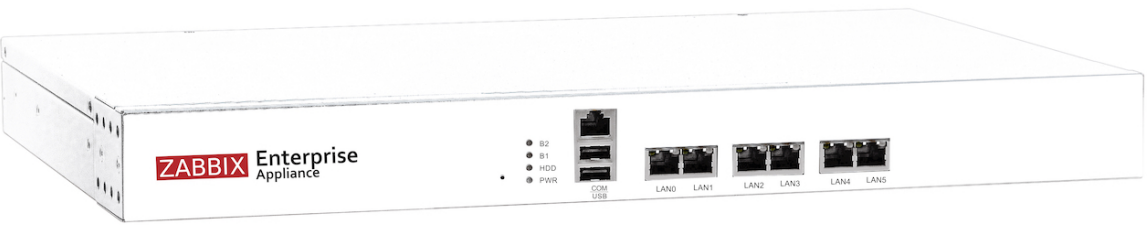

# OSSを開発・公開するなら

- フィードバックの場所の提供が重要
  - コミュニティからのフィードバックが開発には重要
  - フィードバックから継続するモチベーションが生まれる
- ドキュメントと言語
  - 利用してもらうためにドキュメントの整備は大切
  - 英語でメイン言語にすることで多くの利用者とフィードバック

# アプライアンス製品



# Zabbix Enterprise Appliance 4.0LTS

	ZS-7400	ZS-5400	ZP-1400
			
推奨監視対象台数 (アイテム数と監視間隔)	1,000台 (100,000アイテム/5分間隔)	200台 (20,000アイテム/5分間隔)	200台 (20,000アイテム/5分間隔)
Zabbixソフトウェア	Zabbixサーバー (4.0 LTS)		Zabbixプロキシ (4.0 LTS)
CPU	Intel Atom (4 core)	<b>Intel Atom (2 Core)</b>	ARM
ディスク	<b>900GB</b> SSD x2 (RAID1)	200GB SSD x2 <b>(RAID1)</b>	なし
その他ソフトウェア	MySQL Nginx / PHP-FPM Zabbixトラップフォーマッタ システム管理インターフェース	MySQL Nginx / PHP-FPM Zabbixトラップフォーマッタ システム管理インターフェース	SQLite3 システム管理インターフェース

- ・ 11月下旬より出荷開始予定

# 仮想アプライアンス (テクニカルレビュー)

	ZS-V400	ZP-V400
Zabbixソフトウェア	Zabbixサーバー (4.0 LTS)	Zabbixプロキシ (4.0 LTS)
その他ソフトウェア	HWアプライアンス製品と共通	

- 本日よりサポート加入ユーザーに無償公開
- OVAファイルのインポートですぐに使える
- OS設定、監視設定、監視データはHWアプライアンスと相互移行可能
- VMware vSphereとVirtualBoxで動作確認済み

# アプライアンスのメリット

- 設置後すぐに利用できる (Web, Zabbix, DB, SNMPトラップなど設定済み)
- パーティショニング済みMySQL + SSD (データベースが重くならない)
- バックアップ/リストアが簡単 (設定バックアップツール + システム設定を単一ファイルで管理)
- バージョンアップが簡単 (1ファイルのファームウェア + 世代管理)

ホスト名

ホスト名 / ドメイン名  .

NTPサーバー

NTPサーバー1

NTPサーバー2

NTPサーバー3

Zabbix設定バックアップ

毎日6時に自動的にZabbixの監視設定のバックアップを行い直近30日のバックアップファイルを保持しています。

取得日	ファイルサイズ	バックアップファイル
2018-11-15 06:25:02	1.1 MB	<a href="#">zabbix-backup-20181115062502</a>
2018-11-14 06:25:01	1.1 MB	<a href="#">zabbix-backup-20181114062501</a>
2018-11-13 06:25:02	1.1 MB	<a href="#">zabbix-backup-20181113062502</a>

インストール済みファームウェア

システムファームウェアは最新から5バージョン保存され、起動に利用するファームウェアを選択することができます。

バージョン	利用中	次回起動に利用	操作
ZS-5300J.20180910.743	✓	✓	
ZS-5300J.20180828.741			<input type="button" value="次回起動に利用"/> <input type="button" value="削除"/>
ZS-5300J.20180814.740			<input type="button" value="次回起動に利用"/> <input type="button" value="削除"/>
ZS-5300J.20180622.738			<input type="button" value="次回起動に利用"/> <input type="button" value="削除"/>
ZS-5300J.20180528.735			<input type="button" value="次回起動に利用"/> <input type="button" value="削除"/>

オンラインアップデート

オンラインでファームウェアのアップデート情報を確認することができます。

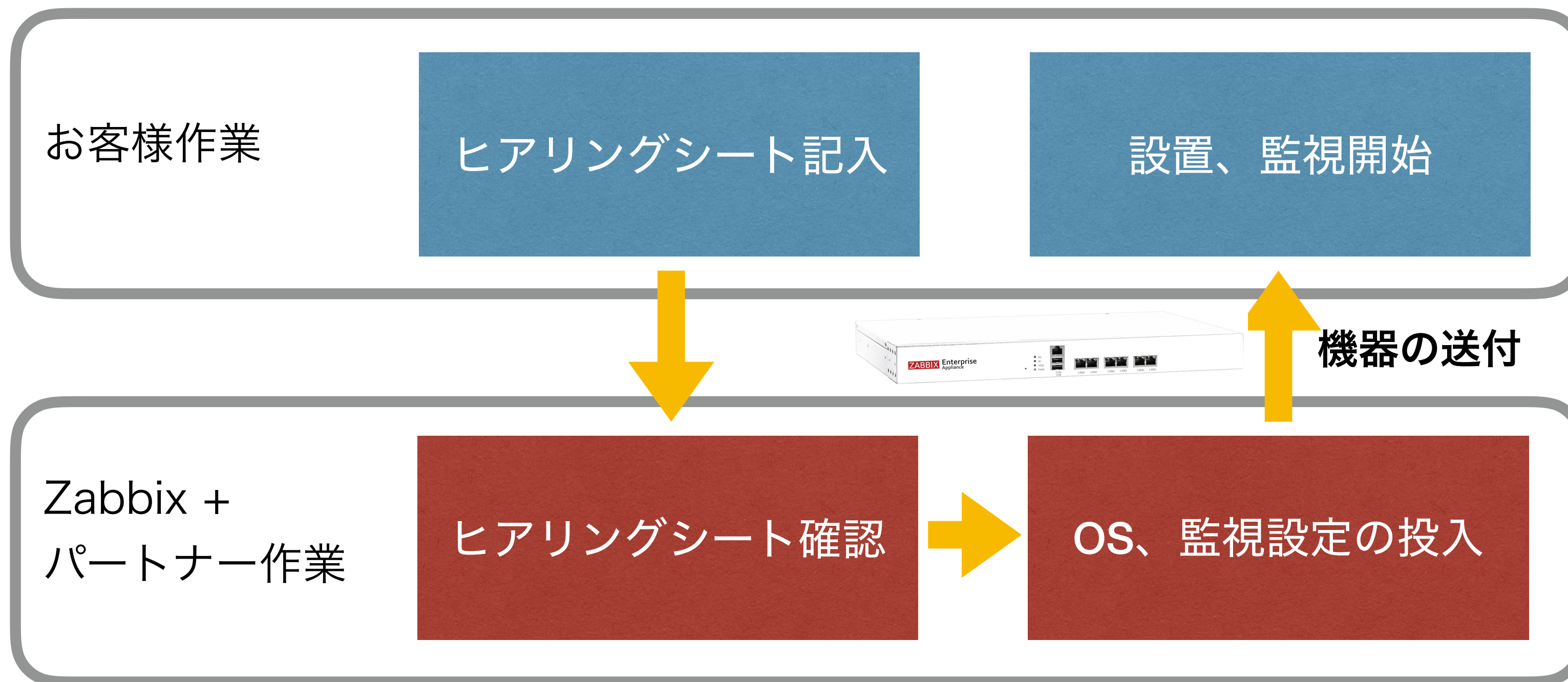
ファームウェアファイルのアップロード

Zabbix Enterprise [カスタマーポータル](#)からダウンロードしたファームウェアファイル(.bootまたは.firmファイル)をアップロードしてください。「ファームウェアの更新」ボタンを押してから更新が完了するまで数分かかる場合があります。ページを開いたままお待ち下さい。



# アプライアンス構築ソリューション (計画中)

- ZS-5400 + 初期設定の実施後に本体を送付
- 監視設定ヒアリングシートの記入内容も設定済み
- OS設定、ホスト設定、基本的な監視設定は実施済み



Zabbix公式パートナーが簡単・スピーディ・安心の監視運用を全力でサポート

## Zabbix Enterprise Appliance構築ソリューション

Zabbix Enterprise Appliance構築ソリューションに含まれるもの

- 構築サービス**  
ご記入いただいたヒアリングシートを基に、Zabbix公式パートナーが基本的な監視設定を行った状態で、Zabbix Enterprise Applianceを送付します。  
Zabbix社と豊富な構築実績を持つZabbixパートナーが共同で開発した監視テンプレートを適用し、スムーズに最適な監視を始めることが可能です。
- 簡易マニュアル**  
Zabbixエージェントの導入方法、監視対象の追加方法など、日々の監視を行う上で最低限必要な操作方法を記載した簡易マニュアルを同梱しています。
- Zabbix Enterprise Appliance ZS-5400**  
Zabbix専用機としてOSおよび各種ソフトウェアの最適化を行い、およそ200監視対象(※1)までのシステムを監視可能。中小規模向けの監視アプライアンスとしてLinux、UNIX、Windows各種サーバー、ネットワーク機器の監視を一元的に行うことができます。自己監視機能を内蔵し、監視マネージャの障害の検知と自動復旧を行うことも可能です。
- Zabbix Enterprise サポート**  
本ソリューションを利用した監視システムの円滑な運用を支援するため、Zabbix Enterpriseサポート シルバー for アプライアンスがつけられています。日々の監視運用で出た操作方法などの技術的なお問合せを年間8回まで行うことが可能です。
- Zabbix入門トレーニング**  
本ソリューションを利用した監視システムの円滑な運用開始を支援するため、Zabbix入門トレーニングが無料でご参加頂けます(※2)。  
このコースでは基本的なZabbixの監視設定を実機を通して学ぶことができ、コース終了時にZabbixのWebインターフェースから監視対象、監視項目、しきい値設定、障害通知、グラフィカル表示設定、テンプレートの各操作と基本的な設定を行えるようになることを目指しています。

(※1) 100,000監視項目、5分間の監視の確率、1監視対象あたり100監視項目としてパフォーマンス測定 (ただし、ログ、vram監視および番号化通信を含まない。)  
(※2) Zabbix Enterprise Appliance ZS-5400のご購入1台につき1名様のご参加となります。

**ZABBIX**  
The Enterprise-class Monitoring Solution for Everyone

ご静聴ありがとうございました

<https://www.zabbix.com/jp>

[sales@zabbix.co.jp](mailto:sales@zabbix.co.jp)

03-4405-7338